

<h2 style="margin: 0;">日本の成り立ちと倭の王権</h2>	年 組 番	
	名前	/15 問

- ① 1万数千年前からつくられた、表面に縄目のような文様のついた土器。
- ② 縄文時代のころから人々が住んだ、地面を掘り下げた床に柱を立て、草や木の枝で屋根をふいた住居。
- ③ 縄文時代の人々が、自然の豊かな実りを願ってつくった土の人形。
- ④ 紀元前7～6世紀ごろ、朝鮮半島の人々が九州北部に伝え、紀元前4世紀には西日本一帯に広まった穀物栽培の技術。
- ⑤ むらで収穫した稲の穂を蓄えた、床が地面より高くなっている倉庫。
- ⑥ 赤褐色でかざりが少なく、薄手でかための土器。
- ⑦ 3世紀中ごろの倭(日本)にあったとされる、女王卑弥呼が治めていた国。
- ⑧ 239年、卑弥呼が使いを送ったとされる国。
- ⑨ ⑧のできごとが記された中国の歴史書。
- ⑩ 大仙古墳(大山古墳)(大阪府)のように、円形と四角形を組み合わせた形をした古墳。
- ⑪ 古墳の墳丘の上に並べられた焼き物。
- ⑫ 3世紀後半に、大和を中心とする近畿の豪族たちによって、大王を中心に連合してつくられた勢力。
- ⑬ 朝鮮半島から日本列島に移り住み、さまざまな技術や文化を伝えた人々。
- ⑭ ⑬の人々が伝えた、窯をつくり高温で焼いたかたい質の土器。
- ⑮ 4世紀ごろに朝鮮半島南西部に建てられ、日本に仏教を伝えた国。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	
⑬	
⑭	
⑮	

日本の成り立ちと倭の王権	年 組 番
	名前

/15 問

- ① 1万数千年前からつくられた、表面に縄目のような文様のついた土器。
- ② 縄文時代のころから人々が住んだ、地面を掘り下げた床に柱を立て、草や木の枝で屋根をふいた住居。
- ③ 縄文時代の人々が、自然の豊かな実りを願ってつくった土の人形。
- ④ 紀元前7～6世紀ごろ、朝鮮半島の人々が九州北部に伝え、紀元前4世紀には西日本一帯に広まった穀物栽培の技術。
- ⑤ むらで収穫した稲の穂を蓄えた、床が地面より高くなっている倉庫。
- ⑥ 赤褐色でかざりが少なく、薄手でかための土器。
- ⑦ 3世紀中ごろの倭(日本)にあったとされる、女王卑弥呼が治めていた国。
- ⑧ 239年、卑弥呼が使いを送ったとされる国。
- ⑨ ⑧のできごとが記された中国の歴史書。
- ⑩ 大仙古墳(大山古墳)(大阪府)のように、円形と四角形を組み合わせた形をした古墳。
- ⑪ 古墳の墳丘の上に並べられた焼き物。
- ⑫ 3世紀後半に、大和を中心とする近畿の豪族たちによって、大王を中心に連合してつくられた勢力。
- ⑬ 朝鮮半島から日本列島に移り住み、さまざまな技術や文化を伝えた人々。
- ⑭ ⑬の人々が伝えた、窯をつくり高温で焼いたかたい質の土器。
- ⑮ 4世紀ごろに朝鮮半島南西部に建てられ、日本に仏教を伝えた国。

①	縄文土器
②	竪穴住居
③	土 偶
④	稲 作
⑤	高床倉庫
⑥	弥生土器
⑦	邪馬台国
⑧	魏
⑨	『魏志』(の)倭人伝
⑩	前方後円墳
⑪	埴 輪
⑫	大和政権
⑬	渡来人
⑭	須恵器
⑮	百 濟